

進めよう！「小郡の子ども共育10の実践」

～志をもち、新しい時代を切り拓くたくましい小郡市民の育成～

●問合せ先 教務課教務係 ☎72-2111内線512

「小郡の子ども共育10の実践」は、「学校・地域・家庭」の三者の役割を明確にし、相互に連携・協力して、子どもを育てることを推進するものです。その学校・地域・家庭それぞれの取組みの一部を紹介します。

※「共育」とは、子どもと大人が共に育つことです

園・学校での3つの実践

～生きる力の育成を！～

①確かな学力を育てよう

②豊かな心を育てよう

③健やかな体を育てよう

心と体を鍛える 三国幼稚園「赤土まつり」

園では、赤土まつりに取り組みました。自分たちの手で必要な道具やみこしを作ることで、粘り強く物事に取り組むことを学び、当日みこしを最後まで運びきることを通して、友達とのつながりを深めました。また、地域の人に声をかけられたり、ほめられたりすることで、自尊感情を高めるとともに、ふるさとを愛する心を育てることへつなげる体験となりました。



地域での4つの実践

～地域の一員としての自覚を！～

①地域で子どもの安全を守ろう

②子どもの居場所をつくろう

③生活体験を豊かにしよう

④地域の産業に学ばせよう

大原小校区「通学合宿」



通学合宿とは

子どもたちが親元を離れ、異年齢の集団で、地域の公民館などに宿泊しながら、学校に通う生活体験です。

区長など地域の人で結成した実行委員会が主催し、実行委員会以外の地域の人にもスタッフとして子どもたちをサポートします。

地域では、通学合宿を大原小校区で行いました。友達と寝食を共にすることで、仲間との絆を強めました。また、地域の人のお家で入浴させてもらう「もらい湯」や、合宿中の学習などを通し、地域の人と交流が深まり、地域の一員としての自覚を育みました。

家庭での3つの実践

～大人(親)になるための自立を！～

①規則正しい生活習慣を

②家庭での楽しいだんらんを

③家族で役割やルールを決めて

「ねるちゃん・けすちゃん」の取組み

家庭では、子どもの自立を促すために、PTAと市が連携して、保育園や幼稚園から小学校1年生まで、早く寝ることと食事の時にテレビを消すことを奨励する「ねるちゃん・けすちゃん」の取組みを実施しています。また、小・中学校のPTAを中心に各家庭で「早寝・早起き・朝ごはん」や親子読書(家読)に取り組んでいます。

